

## 2 元禄型関東地震による津波の数値シミュレーションについて（島しょ部）

### 2.1 津波シミュレーションに用いる津波断層モデルについて

元禄型関東地震（M8.2）の津波断層モデルとしては、関東直下に沈み込むフィリピン海プレートの上面深度が浅くなったことを加味し、1703年の元禄関東地震における地殻変動量から推定された、最新の行谷ほか（2011）の一樣すべりモデルに房総沖の小断層 11 を加えたモデルを用いている。

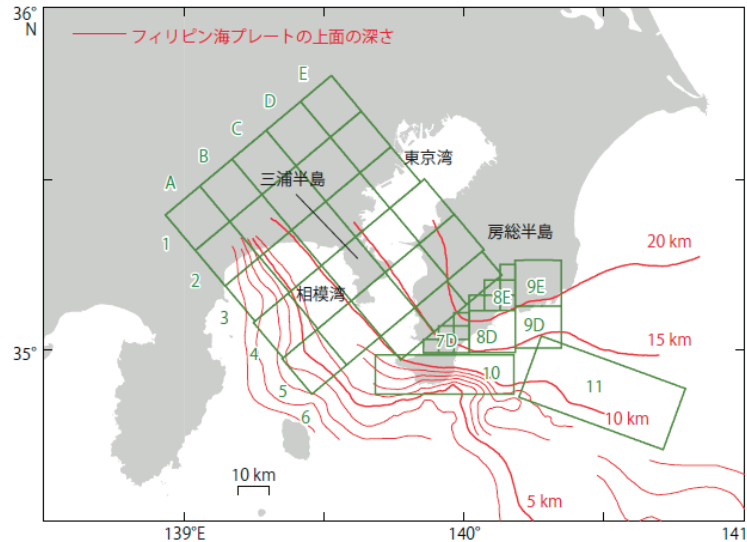


図 2.1 行谷ほか（2011）における元禄・大正関東地震の震源モデル（元禄型関東地震の場合は、房総沖の小断層 11 を含む場合がある。）（フィリピン海プレート上面深さ分布（赤線）と設置した断層面（緑線）、緑字で書かれた番号は小断層の番号を表す。）

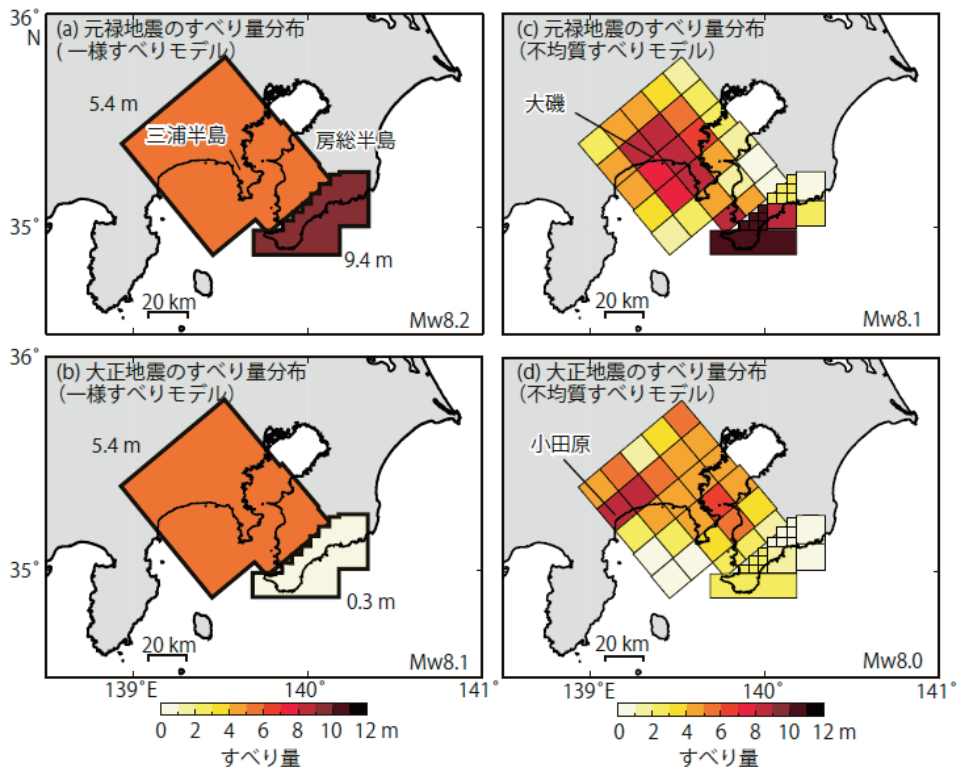


図 2.2 地殻上下変動量分布からインバージョン解析により推定したすべり量分布（行谷ほか，2011）